

令和3年1月

市内小中学校の皆さん
保護者の皆様

四国中央市教育委員会 教育長 東 誠

『今まで経験したことのないこの状況を、誰もがお互いを思い合い支え合い、みんなで乗り越えていける四国中央市であることを切に願っています』

児童・生徒の皆さん

1月も終わりを迎えますが、友達と協力して楽しい学校生活を送るとともに、目標に向かって頑張っていることと思います。これまで新型コロナウイルス感染防止のための対策や、三密を避けての学習や部活動など、様々な協力をしていただいている皆さんに、とても感謝しています。皆さんの頑張りのおかげで多くの人を感染から守ることができています。

現在も、全国で毎日多くの感染者数が発表され、市内においても感染が確認されていますが、この新型コロナウイルスは、誰もが感染する可能性があります。マスクをしたり、手洗いをしたりなど、ていねいに感染防止対策をとっていても感染することもあるのです。もしかすると皆さんの身近な人が感染してしまうことがあるかもしれません。しかし、決して感染した人が悪いわけではありません。戦うべきはウイルスです。

感染した人やそのご家族について「どこの、だれか」と探りまわったり、根拠のないうわさ話を広げたり、SNS等で心ない言葉を書き込んだりして、差別したり排除したりすることは絶対に許されません。かかるかもしれない不安はみんな同じように持っています。同じ思いの私たちが、ほかのだれかを傷つけるのはおかしいことだと、わかっただけでもらえますよね。

皆さんには、差別的な言動に決して同調することなく、今こそ、もし自分が感染したら周りの人にどうしてほしいかということを考えて行動してほしいのです。あなたの温かい心を、クラスの友達にも町の人達にも、しんどい思いをしている人にも示してあげてください。

保護者の皆様

保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて日頃より予防対策に細心のご協力をいただき、心より感謝申し上げます。全国的に感染の拡大が続いている中、本市においても急速な感染の広がりがありました。この機会に、保護者の皆様にぜひお願いしたいことがあります。

新型コロナウイルス感染症は、まだわからないことも多く、どんなに注意をして生活していても、誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということでは決してありません。不安や恐れから、感染してしまった方やその家族、関係者に対する差別、自分も感染するのではないかという根拠のない偏見、耳にした一部の情報で噂話を広げ、誹謗中傷などによって誰かを傷つけてしまったりすることは、決して許されることではないことを分かっていただけだと思います。

子どもたちは、これまで偏見や差別がいかに関手を傷つけるかということや、相手の気持ちを考えて行動することの大切さを学校生活の中で学んできました。子どもたちの人権意識をさらに高めていくために、今こそ、身近な大人である私たちがより良い手本を示す時だと思っています。

保護者の皆様には、正しい知識をもとに適切に判断し行動することや、思いやりの気持ちをもって人と接することの大切さを、お子様に伝えていただきますようお願いいたします。